

# 葛城市 市議会報告

## はじめる ネット

2020年2月 令和2年 通算第11号

きずなでん  
「絆展」で色ぬりを体験  
(疋田・東和苑)

# 吉村 始

1968年1月1日、葛城市生まれ  
出版社を経営、葛城市議会議員

★本紙は、ご支援くださる方々と家族とで手配りしています。  
最新号やバックナンバーは、ウェブ版でご覧いただけます。



<https://www.hajimerunet.com>

◀バックナンバーはこちら



発行 吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市疋田379 電話&FAX 0745-69-7590

## 市政の主役は 市民なのです

### もっと伝わるように工夫します

私はめでたいことに元日生まれ。「平成」+20、「令和」+50が自分の年齢。計算が超簡単です。52歳、令和2年もはりきってまいります。

個人としては、今年も「タウンミーティング（議員報告会）」や「はじめるネット」で情報発信してまいります。また、市議会発行「葛城市議会だより」の編集委員長として他の議員と協力して、もっと市民の皆様に伝わる誌面づくりを工夫していきます。

私は「現役世代」の議会人であり、図書館大好きな出版人（編集者）です。そんな私だからこそできる議員活動を、さらにがんばっていく決意です。

### 地方自治のイメージ



市長（行政）は、議会に条例や予算などの提案を行います  
議会は議決や調査などを行います

### 住民投票のしくみ作りは必要

昨年の6月議会で、市が「葛城市住民投票条例」の制定を目指す議案を出しましたが、市議会では反対多数で否決されました。私は賛成しましたが、

多勢に無勢（涙）。残念な結果でした。

反対意見では「住民同士の分断を招くおそれ」「市長や市議会の権限を損なう」「議論が不十分」などの理由が挙げられました。どれも一理ありますね。

しかし、私は以前から、葛城市民が葛城市のことを決めるんだという「市民自治」の実践が大切だと考えています。その手段の一つとして「常設型」の住民投票条例の必要性を、あらためて訴えます。



## 市民が民主化を進める葛城市に

市民は、市を治めるために市長と市議会とを選挙で選びます。そして、市長と市議会に市政の運営を任せる形です。しかし「勝手にやってね」という「白紙委任」ではなく、市長と市議会の権限は市民から任された範囲での話です。市民が常に市長と市議会の暴走を防ぐ方法を持つことが重要だと考えます。

『18歳からの民主主義』という本の中で、上智大学国際教養学部教授の中野晃一さんが次のように書いています。

「民主主義「である」だけでは不十分で、民主主義は「する」ものです。(中略)日々、私たちが民主主義の主体として主権者として政治参加の権利行使することによって、民主化という未完のプロセスが前に進むのです」。私もまったく同感です。

というわけで、市民自治の実践が大事だと今後も主張し、私の議員活動の拠り所としてまいります。



岩波新書編集部 編  
『18歳からの民主主義』  
岩波新書(新赤版)1599

# 6月議会 一般質問

当日の動画は  
こちらから→



児童数  
年と児童数  
学の負担等

## ①市内小学校の 校区割について

将来を見越した  
校区割議論の場  
設置をお願いしました

市教育委員会は「(校区の見直しは) 地域ごとの  
経緯があり、親子や兄弟の母校が違ったりする」の  
で難しい問題だと考えています。これまで校舎の  
増改築などで児童数の変化に対応してきたそうです。

私は「校区割検討委員会」をつくるほしいと要望  
しました。阿古市長は3月議会で「子育てと教育にお  
金をかけていきたい」と答えています。

新庄小学校の運動会を見に行くと、保護者席は本  
当にキツキツです。地域の皆さん納得する形で、  
たとえば磐城小学校区や新庄小学校区の一部を新庄  
北小学校区に移せれば、3校すべての児童にとって  
良い話と考えます。

### 全校児童数と運動場の広さ

2018(平成30)年5月1日現在

磐城小	705人	7,926m <sup>2</sup>	
新庄北小	278人	8,419m <sup>2</sup>	
新庄小	811人	6,012m <sup>2</sup>	

## ②学校図書館の活性化について

奈良県内の市町村では

本市の学校図書館は充実しています

葛城市では「司書教諭（学校の先生）」のほかに「学校司書」が補助員として市のお金で全校に配置されています。学校司書が全校にいる市は県内で葛城市と生駒市だけで、評価できます。

# 9月議会一般質問

当日の動画は  
こちらから→



## ①体育施設の管理運営について

「全国中学校サッカー大会」  
天然芝グラウンド好評  
関係者の努力が実りました



▶全国中学校サッカー大会当日  
(新庄第1健民運動場)

新庄第1健民運動場と新町公園球技場の天然芝は、長らく手入れが行き届かない状態が続いていま

した。しかし、教育委員会をはじめ関係者の連日の作業のおかげで見事復活！ 大会直前は雨でしたが、グラウンドの水はけも良く好評でした。

## ②新生児聴覚検査の公費補助について

すいしょう  
国が推奨、県議会でも請願  
すべての赤ちゃんが  
検査を受けられる体制を

この検査は、生まれつきの聴覚障害を早く見つけて療育につなげるものです。私の要望に阿古市長は「具体的な検討作業に入りたい」と応じました。

## ③市立（當麻）図書館の市民サポートについて

こども・若者サポートセンターとの  
具体的な連携方法を  
提案しました

出産前から40歳頃までず~っと温かく子どもの成長を見守り支援してくれる「こども・若者サポートセンター」は、葛城市自慢の施設です。

センターでは1つの窓口で、子育てからひきこもりにいたるまで臨床心理士、保健師、保育士、社会福祉士などの専門職がサポートしてくれています。

センターと、すぐ近くの當麻図書館とが協力して、サポートの助けになる関連の専門書を集めなどの連携を提言したところ、教育委員会と図書館とで専門書コーナー設置などの検討を進めるとのことでした。



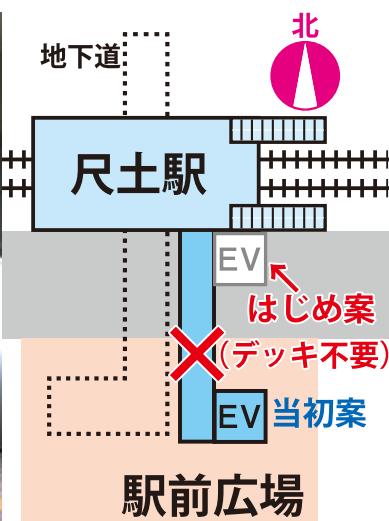
# 12月議会 一般質問

当日の動画は  
こちらから→



## ① 尺土駅周辺の整備について

駅外のエレベーター  
早期設置を「再提言」  
設計変更で工期短縮を！



駅から外につながるエレベーターを早く設置してほしい！という声が大きくなるばかりです。いまの市の考えは「当初の設計どおり事業を進めるんだ」ということだそうで、このまайいけば5年以上もかかってしまいます。

そこで提言！ 駅構内にあるエレベーターと同等のもの（幅2m）だったら駅舎に直付けできるんじゃないの？ というわけで、メーカーや近鉄など関係機関へ確認することを市に約束してもらいました。

こうすれば、車いすやベビーカー、お年寄りなどエレベーターの必要な方が早期に利用できるようになります。また、雨風の日にわざわざ傘を差してデッキ（歩道橋）を渡る必要もなくなります。駅前広場

のレイアウト変更が実現すれば、時間と費用とが、ずいぶん節約できるはずです。

## ② 公共（集客）施設について

技術を受け継ぐために  
専門職の研修が大事  
と、お願いしました

葛城市では、博物館や文化会館、図書館などを「集客施設」と定めています。それぞれ、学芸員、技術員、司書などの専門職が活躍しています。

葛城市では正職員の研修は行われていますが、小中学校の図書室で働いている非常勤職員である「学校司書」への研修は不十分だと指摘したところ、「今まで機会のなかった専門職の交流や研修の場を今後つくりたい」との回答を得ました。

第2回 吉村はじめと始める会  
タウンミーティング  
(議員報告会)  
開催します



3月議会では令和2年度の予算について話し合われます。それも含めた報告を行います。

日時：4月25日（土）午後2時～3時半  
場所：疋田公民館 2階

きずなてん（→1ページ写真）  
☆絆展は、地区有志の皆さんによる「疋田・東和苑絆の会」の作品展です。「この作品展を通して地域住民の趣味を広げ、その仲間を増やし、そしてアートに熱心で“絆”的な町へ導きたいのが目的」という代表の小立晶敏さん。このような文化活動を、私も地域の一員として誇らしく思います。